

## コロラド州：小麦作柄と気象状況

2005年7月12日

### 2005年7月10日現在：

7月10日に終わる1週間のコロラド州の気象は、引き続き高温・強風気象であった。気温は平年を上回り推移した。東部平原に散発的に雷雨が発生したのが大した雨量では無かった。1週間の州平均農作業稼働日数は6.4日（前週：6.5日）であった。土壌水分は前週より減少した。

冬小麦の91%が完熟し、全体の68%が収穫された。昨年並びに5年平均より早い進展であった。作柄評価は高温・乾燥の為前週より悪化した。

2005年7月1日付けUSDAの冬小麦生産量予想では、単位収量は6月1日予想より5 bushels 減少し、27.0 bu/ac となった（2004年産実績：27.0bu/ac）。昨年実績と等しくなった。5月の天候不順が登熟を遅らせ6月中旬からの水分不足がマイナス要因と考えられる。詳細は別表の通り。

### 土壌水分：7月10日現在

	Very Short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil (%)	7	26	66	1
Subsoil (%)	14	33	51	2

### 生育状況：7月10日現在

	This Week	Last Year	5-Yr Ave.
Ripe (%)	91	79	84
Harvested (%)	68	36	55

### 作柄状況：7月10日現在

	Very Poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This week (%)	9	19	36	29	7
Last week (%)	4	17	35	34	10

Source：Colorado Agricultural Statistics Service

### 7月1日付けUSDA生産量予想（冬小麦）

State	Area Harvested 1,000 acres		Yield Bushels/acre			Production 1,000 bushels	
	2004	2005	2004	2005		2004	2005
				June 1	July 1		
CO	1,700	2,400	27.0	32.0	27.0	45,900	64,800
USA	34,462	34,271	43.5	44.1	44.5	1,499,434	1,525,302

当該作柄レポートに関するご質問等は下記までにお問い合わせ致します。

小川正晃 : Email [ogawa.max@omicnet.com](mailto:ogawa.max@omicnet.com)